

Title	サーチ理論に基づく新たなフィリップス曲線の提示
Sub Title	New price model with search foundation
Author	寺西, 勇生(Teranishi, Yuki)
Publisher	慶應義塾大学
Publication year	2021
Jtitle	学事振興資金研究成果実績報告書 (2020. )
JaLC DOI	
Abstract	<p>本研究では、サーチモデルを基礎にした新たなフィリップス曲線の構築を行っている。この新たな価格モデルでは、財の投入と退出がサーチモデルによって表現されており、財サイクルが取り込まれている。また、新規に市場に投入された財の価格設定と、既存財の価格設定は異なるとの性質をモデルに取り込んでいる。その上で、このモデルが日本の財取引のマイクロデータの特徴を説明できるのかを検証している。</p> <p>日本の財取引のマイクロデータであるNikkeiデータを用いたと、この新しい価格モデルが財の投入、退出、価格、需要の関係を的確に説明できることが明らかになった。また、財市場に存在する取引摩擦、特に生産者と小売店の間にある取引相手を見つける上での発見確率と価格、需要などの間の関係も適切にモデルによって再現できることが明らかになった。また、こうしたサーチモデルを基礎にした新たなフィリップス曲線を一般均衡モデルに取り込んだ場合には、財の投入のメカニズムのよって、価格の変動が22パーセント増加することが分かった。また、更に初期価格後の価格の減少効果を織り込むと、価格の変動が35パーセント増加することが分かった。</p> <p>This paper develops a price model with endogenous product cycles. Through a frictional product market with search and matching frictions, an endogenous product cycle is accompanied with a price cycle. This model nests the New Keynesian Phillips curve as a special case and generates several new phenomena related to product cycles and price dynamics. Our simple model well captures the observed features about prices and business cycle correlations from product level micro data in Japan. In the general equilibrium model for the Japanese economy, endogenous product entry increases variation of the inflation rate by 22 percent. This number increases to 35 percent with a price discounting after a first price.</p>
Notes	
Genre	Research Paper
URL	<a href="https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=2020000008-20200127">https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=2020000008-20200127</a>

慶應義塾大学学術情報リポジトリ(KOARA)に掲載されているコンテンツの著作権は、それぞれの著作者、学会または出版社/発行者に帰属し、その権利は著作権法によって保護されています。引用にあたっては、著作権法を遵守してご利用ください。

The copyrights of content available on the Keio Associated Repository of Academic resources (KOARA) belong to the respective authors, academic societies, or publishers/issuers, and these rights are protected by the Japanese Copyright Act. When quoting the content, please follow the Japanese copyright act.

研究代表者	所属	商学部	職名	教授	補助額	500（特B）千円
	氏名	寺西 勇生	氏名（英語）	Yuki Teranishi		
研究課題（日本語）						
サーチ理論に基づく新たなフィリップス曲線の提示						
研究課題（英訳）						
New Price Model with Search Foundation						
1. 研究成果実績の概要						
<p>本研究では、サーチモデルを基礎にした新たなフィリップス曲線の構築を行っている。この新たな価格モデルでは、財の投入と退出がサーチモデルによって表現されており、財サイクルが取り込まれている。また、新規に市場に投入された財の価格設定と、既存財の価格設定は異なるとの性質をモデルに取り込んでいる。その上で、このモデルが日本の財取引のマイクロデータの特徴を説明できるのかを検証している。</p> <p>日本の財取引のマイクロデータである Nikkei データを用いたと、この新しい価格モデルが財の投入、退出、価格、需要の関係を的確に説明できることが明らかになった。また、財市場に存在する取引摩擦、特に生産者と小売店の間にある取引相手を見つける上での発見確率と価格、需要などの間の関係も適切にモデルによって再現できることが明らかになった。また、こうしたサーチモデルを基礎にした新たなフィリップス曲線を一般均衡モデルに取り込んだ場合には、財の投入のメカニズムによって、価格の変動が22パーセント増加することが分かった。また、更に初期価格後の価格の減少効果を織り込むと、価格の変動が35パーセント増加することが分かった。</p>						
2. 研究成果実績の概要（英訳）						
<p>This paper develops a price model with endogenous product cycles. Through a frictional product market with search and matching frictions, an endogenous product cycle is accompanied with a price cycle. This model nests the New Keynesian Phillips curve as a special case and generates several new phenomena related to product cycles and price dynamics. Our simple model well captures the observed features about prices and business cycle correlations from product level micro data in Japan. In the general equilibrium model for the Japanese economy, endogenous product entry increases variation of the inflation rate by 22 percent. This number increases to 35 percent with a price discounting after a first price.</p>						
3. 本研究課題に関する発表						
発表者氏名 （著者・講演者）	発表課題名 （著書名・演題）	発表学術誌名 （著書発行所・講演学会）	学術誌発行年月 （著書発行年月・講演年月）			